

(第6条関係)

事業計画書

事業名	学習支援と食の提供による子どもの居場所作り事業
団体名	まんぷく小屋

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>・支援教室など市の対策も色々あるが、生活保護までには至らなくてもぎりぎりの生活を送っている家庭や支援教室に通っていない子ども達の中で小学校からの学びなおしが必要な子どもも確実にいる。また学校でも補修時間を設けたりと対策をとってはいるものの、不登校や発達障害、国籍の違いなど子ども達も多様化していて、限られた時間の中で学校の先生方だけではサポートしきれない子ども達に、進学や将来への夢をもてるよう、地域という網の目のサポートをする必要がある。</p> <p>・PTAに長く関わってきて、市や学校が色々な対策をとっていても、常盤平地区はクラスに1~3人と教室に入れない子がいる現状の中、子どもも親も孤立している姿をよくみた。不登校の子が学校に復活する足がかりは友達の力が大きい。「学びなおし」「子ども食堂」という看板のしたで、学校に行っている子と行きづらい子がつながり、一人でも次へ動きだせる場を作ること、また悩みを抱えている親も、校外で地域ボランティアとつながり話したり情報をえることで少しでも元気になれる場を作ることが必要である。</p>
事業の目的	<p>まんぷく小屋は、学校とは違うアプローチで学ぶことを楽しんだり、家族や先生とは違う大人に出会うことで未来を拡げたり、親もスタッフと話すことで一息つける、多世代のコミュニケーションの場になることを目的にし、個人宅で行うからこそ、国籍の違いや発達障害など多様化している子ども達が多世代・多職種の大人達がフレキシブルに対応することを目指す。</p> <p>また広報活動を行い、存在を知ってもらうことで、子ども達の様々な問題にも目を向ける大人を増やし、みんなで子ども達を育てられる地域にする。そのために広報活動に力をいれ、寄付やボランティアで自立することをめざす。</p>

<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な学習支援と食事提供 毎週金曜日 17 時～19 時 学習支援…各子ども達に合わせた学習を提供する 19 時～20 時 調理体験&amp;食事提供…一緒に作ったり食べたりすることでお互いの関係づくりにも役立つ。また親と料理したことがない子ども達も色々な初体験を味わうことが出来る</li> <li>・ 近隣の小中学校や町会などでの募集活動 地域の情報をあまり知らない親を持つ子ども達にも告知し、子ども達の居場所となるアピールをする</li> <li>・ まつど子ども食堂の会のイベントや会議などへの参加 他の子ども食堂とのネットワークを作り、情報交換をして多様な子ども達への対応法を相談したり、子ども食堂の存在と意義を広報することに尽力する。</li> <li>・ 学校に行きづらい子どもやその親へのサポート活動 不登校や発達障害などは、千差万別なので、その時その時によって対応を変えているが、ずっと引きこもっていた子には、出張まんぷく小屋として、スタッフ2名と訪問し、沢山話したことで犬の散歩やイベントの手伝い等をしてくれたり、まんぷく小屋で他の子ども達と一緒に勉強したり食事するようになった。また親だけでもボランティアをしがてら話にきたり、情報収集できる場になっている。</li> </ul> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="488 1178 1390 1402"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～3月</td> <td>学習支援と食事提供</td> <td>毎週金曜日 17 時～20 時 小中学生/代表宅にて</td> </tr> <tr> <td>夏休み</td> <td>職業紹介などのイベント</td> <td>臨時開催</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>制服リサイクル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月～3月	学習支援と食事提供	毎週金曜日 17 時～20 時 小中学生/代表宅にて	夏休み	職業紹介などのイベント	臨時開催	12月	制服リサイクル	
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など											
4月～3月	学習支援と食事提供	毎週金曜日 17 時～20 時 小中学生/代表宅にて											
夏休み	職業紹介などのイベント	臨時開催											
12月	制服リサイクル												
<p>事業の目標</p>	<p>学校に行けていない子やシングルペアレントなど、地域との関わりが薄く、情報を取りにくい親子へのリーチと、地域のボランティア希望者への広報に力をいれ、双方がつながれる場を提供する</p> <p>まんぷく小屋だけで対処できない親子と出会った場合は地域の団体につなぎ、どんな子どもも生き生きと未来を夢見て生きていけるよう、微力ながらも地域の団体としてサポートする</p>												
<p>今後の展望</p>	<p>地域の周りの人達に関心を持ってもらい、寄付や無償ボランティアなどだけで自立できるようにする</p>												

(第6条関係)

## 事業の予算概要

### 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	寄付	¥ 20,000	
	団体拠出金	¥ 17,600	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 37,600	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 137,600	

### 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 103,000	食材費2000円×50回=100000 調味料費3000円
	印刷製本費	¥ 30,000	5円×6000枚=30000円 (常盤平1小、3小、学童、保育園配布)
	保険料	¥ 4,600	子ども食堂保険費3700 検便代900
	対象経費の合計 (D)	¥ 137,600	
その他経費			
	その他経費の合計 (E)	¥ 0	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 137,600	

### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。